

核と安保と米軍基地

情報公開法を使って 国家のうそを暴く

講師 **梅林宏道** さん(ピースデポ特別顧問)

核密約、普天間基地移設問題、それにイラク戦争の検証問題など、最近の議論の問題点と本質とは何か。長年にわたって在日米軍の実態などを調査してきた梅林さんのお話です。

アメリカの情報公開法などを駆使して隠された事実、国家のうそを突き止めていく調査方法や、日本の情報公開法など情報公開、情報管理の問題点についても、言及していただく予定です。

主催・問い合わせ

市民ウォッチャー・京都

京都市中京区烏丸通二条下る西側 ヒロセビル 2階
市民共同法律事務所内

TEL. 075-256-3320 FAX 075-256-2198

office@shiminwatcher.org http://shiminwatcher.org/

【講師紹介】うめばやしひろみち 1937年兵庫県洲本市生まれ。現在、NPO法人ピースデポ(平和資料協同組合)特別顧問。情報公開のための「さい塾」を主宰。中堅国家構想(MPI)国際運営委員。核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)東アジアコーディネーター。大学教員などを経て、1980年よりフリーに。以後、さまざまな平和、軍縮、民主化、人権問題に取り組む。1990年代以降、米情報公開法を駆使して日本で初めて在日米軍の実態を明らかにした。2008年日本平和学会平和賞を受賞。著書に「米軍再編—その狙いとは」(岩波ブックレット)「在日米軍」(岩波新書)「情報公開法でとらえた在日米軍」(高文研、93年日本ジャーナリスト会議賞受賞)他。

とき: 2010年 **5月19日**(水) 19時~

ところ: **こどもみらい館** 4階第2研修室
(☎075-254-5001)

★18時30分から同会場で市民ウォッチャーの総会を開催します。

入場無料

